

保護者様

新潟市立江南小学校  
校長 藤塚 静治

## 令和5年度学校重点目標 前期進捗状況について（お知らせ）

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から当校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

令和5年度江南小学校教育ビジョンに基づく学校重点達成に向けた前期の進捗状況について、担当する各部における取組の実際と評価をお知らせします。

## のばす部による「確かな学び」の取組

	数値目標	結果	前期評価
① 児童アンケート「自分の考えを進んで伝えている」	75%	85.4%	A
② 児童アンケート「授業で話し合ったことを使って振り返りを書ける」	80%	94.9%	A

児童アンケートを使用し、評価を行いました。

- ① 自分でじっくり考える時間を設定して考えを書いたり、ペアやグループの友達に伝えたりしながら、全員がかかわり合いながら学習できる場を設定しています。また、iPadを活用することで、自分の考えをクラス全体に伝えやすくなった児童も多く見受けられます。今後は、自分の考えを伝えるだけでなく、誰かの考えに付け足したり、違う考え方を提案したり、児童同士が双方向で学び合える授業を目指していきます。
- ② 授業の終末に、学んだことを自覚できるように「振り返り」の時間を設定しています。文章でふり返りを書くこと以外にも、算数で学んだことを生かして問題を解いたり、国語で学んだことを生かしてポスターや新聞にまとめたりすることで、自分ができるようになったことを自覚することにもつながっています。

<担当：研究主任 井畑>

## みがく部による「豊かな心」の取組

	数値目標	結果	前期評価
① 児童アンケート「友達に優しい言葉を使っている」	70%	97.0%	A
② 児童アンケート「友達は優しい言葉を使ってくれる」	70%	96.0%	A
③ 児童アンケート「自分から挨拶をしている」	70%	95.3%	A
④ 児童アンケート「友達は挨拶をしてくれる」	70%	96.2%	A
⑤ 児童アンケート「廊下を安全に歩いている」	70%	96.5%	A
⑥ 児童アンケート「友達は廊下を安全に歩いている」	70%	91.3%	A

今年度より児童アンケートを使用し、さらにすてきな江南小学校にするために、特に必要と考えられる上記の6項目について評価を行いました。今回は、全ての項目において肯定的評価の割合が大きく数値目標を上回ることができました。

今年度は「言葉遣い」「挨拶」「廊下歩行」を『江南小学校 今月のめあて』として、毎月全校で特に力を入れて取り組んでいます。今後も児童全員が『かがやけ 太陽の子』として充実感をもって学校生活を送ることのできるように、職員一同努めていきます。

<担当：生活指導主任 伊比>

## きたえる部による「健やかな体」の取組

	数値目標	結果	前期評価
① 児童アンケート「体育の時間や休み時間にめあてをもって運動に取り組んでいる」	80	90.1	A
② 元気アップ週間を年3回行う（6月・9月・1月）	前期2回	2回	A

児童アンケートを使用し、評価を行いました。

①の結果から、多くの児童がめあてをもって運動に取り組んでいると実感しています。9月の持久走強調週間「走れ太陽の子」では、約2週間の期間中、全校児童が20分休み等にグラウンドを走って体力向上を図りました。記録会では、ペア学年で励まし合い、これまでの頑張りを十分に発揮し、努力を認め合う姿が見られました。「日々の体育授業の充実や休み時間に児童が十分に体を動かして遊べる運動環境を整備する」「めあてカードなどを積極的に活用し、目標設定→活動→振り返りを大切に活動を行っていく」などの取組を継続し、江南小学校の子どもたちの長所を伸ばし、短所を底上げできるように今後も取り組んでいきます。さらに、ロイロノートの「マイフォルダ」に今年度の記録を残し、学年が上がっても、結果を見返すことができるようにしました。今年度の結果をもとに、来年度の目標を設定してほしいと思います。

②では、今年度ものばす部と連携し、元気アップ週間に家庭学習の項目を入れ、生活習慣を改善する取組を充実させました。ご家庭の協力のもと、これまで計画的に行うことができています。健やかな体を育てていくには、より良い生活習慣の定着が大切です。利用するカードには健康な生活を送るための目安を載せています。是非参考にさせていただきながら、正しい生活習慣の確立のために、引き続きご家庭での協力をお願いいたします。

<担当：体育主任 遠藤>

## 「特別支援教育」の取組

	数値目標	結果	前期評価
授業のユニバーサルデザイン化に関する児童の肯定的評価	80%	96.0%	A

前年度に引き続き、「授業のユニバーサルデザイン化」として、どの子にも分かりやすい授業をするよう全職員で取り組んでいます。職員の自己評価と、児童アンケートの数値を合わせたもので評価しています。児童アンケートでは、「普段の授業では、これから何をするのか分かっています」「普段の授業では、テレビや写真、図などを使って分かりやすくする工夫がされています」の二つの項目で90%以上となりました。見通しをもてるような支援、ICT等も活用しながら授業の内容を理解しやすくする支援を職員一人一人が工夫して行っています。



今年度は、多様な学びを提供するという視点に立ち、児童一人一人の教育的ニーズに沿った指導・支援について考える職員研修を行いました。これからも児童をよく見取り、有効な手立てを共有することで、より分かりやすい授業ができるよう授業改善を行っていきます。

<担当：特別支援教育コーディネーター 若月>

◇ 今後、学校の取組等についてご不明な点がございましたら、学校（教務主任または担任）までご連絡ください。